

新・こどもと健康

No.116

2026.9.1

～高1でHPVワクチン未接種の方は急ぎましょう～

HPVワクチンは高校1年で終了しないと公費ではなくなります。15歳以上で開始の場合、標準6か月少しかかりますので、3月31日までに終了しようとしたら、そろそろ余裕がありません。

インフルエンザ、全国的には流行入り

全国、大阪府、堺市のインフルエンザの定点あたり

インフルエンザ定点当たりの上位9県
(第34週 8月17日～8月23日)

厚生労働省は令和8年
第34週(8月17日から23
日)のインフルエンザ発生
状況として、全国の定点当
たりの平均が1.11で、流行
開始の目安である1.00を
上回り、流行入りしたと発

	全国	大阪府	堺市
第30週(7/20～7/26)	0.24	0.08	0.08
第31週(7/27～8/2)	0.37	0.10	0.04
第32週(8/3～8/9)	0.52	0.17	0.16
第33週(8/10～8/16)	0.69	0.27	0.24
第34週(8/17～8/23)	1.11	0.45	0.44

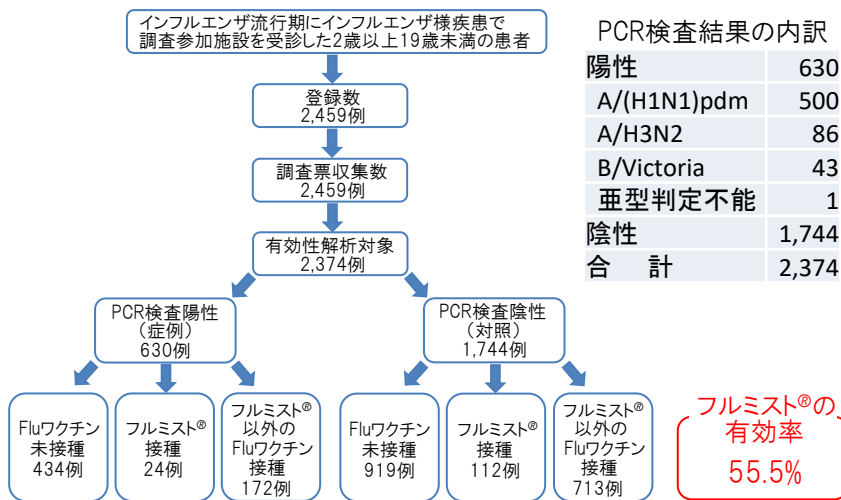
沖縄県	4.43	千葉県	1.80
岩手県	2.10	茨城県	1.76
青森県	2.08	新潟県	1.65
神奈川県	1.99	鹿児島県	1.58
埼玉県	1.83		

表しました。都道府県別では沖縄が4.43でトップで、岩手県の2.10、青森県の2.08と続きます。大阪府は0.45、堺市は0.44ですが、もうすぐ流行入りするものと思われます。

出典：厚生労働省HP『(Press Release)インフルエンザの発生状況をお知らせいたします』、大阪府感染症情報センターHP『インフルエンザ定点あたり患者数(直近10週)～34週(2026年8月17日～8月23日)』

経鼻インフルエンザワクチン(フルミスト®点鼻液)の有効率

～2024/2025シーズン 第1回調査 集計結果～



2025年1月1日から3月31日までに、インフルエンザ様疾患のため医療機関を受診した2歳以上19歳未満の患者さん2,459例(有効性解析対象2,374例)を対象にして経鼻インフルエンザワクチン(フルミスト®点鼻液)の有効率が算出されました。PCR検査にてインフルエンザ陽性と診断された630例のうち、インフルエンザワクチン未接種が434例、フルミスト®接種が24例、フルミスト®以外のインフルエンザワクチン接種が172例でした。PCR検査でインフルエンザ陰

性であった1,744例ではインフルエンザワクチン未接種が919例、フルミスト®接種が112例、フルミスト®以外のインフルエンザワクチン接種が713例でした。PCR検査によるインフルエンザ陽性例でインフルエンザワクチン未接種に対するフルミスト®の調整オッズ比は0.445となり、ワクチン有効率は55.5%と算出されました。フルミスト®を接種した集団の発症率と、ワクチンをしていない集団の発症率を比較すると55.5%減らしていたことになります。ちなみにフルミスト®以外のインフルエンザワクチン接種での同様のワクチン有効率は41.2%でした。

出典：第一三共株式会社HP『フルミスト®点鼻液 使用成績比較調査－フルミスト®点鼻液のインフルエンザ発症予防効果の経年的な検討に関する症例対照研究－第1回調査 集計結果(2026年8月)』

経鼻インフルエンザワクチン(フルミスト®点鼻液)の安全性

同じフルミスト®の安全性について、2024年9月1日から2025年3月31日にかけてフルミスト®を接種された3,483例中、書類的に不適切等で142例が除かれ、3,341例で集計されました。副反応発現割合は31.73%(1,060例/3,341例)でした。主な副反応は「鼻漏」で20.32%(679例)、続いて「鼻閉」が9.82%(328例)、「発熱」が8.59%(287例)、「咳嗽」が8.08%(270例)でした。接種から28日以

内に発現した重篤な副反応は3例(0.09%)に認められ、内訳は「アナフィラキシー反応」、「血小板数減少」、「熱性痙攣」、「インフルエンザ」、「発熱」が各1例で、最後の3つは同一症例でした。3例とも回復しています。また別に「ベル麻痺を含む脳神経障害」に該当する副反応として「嗅覚錯誤」が1例ありましたが、回復しています。

出典：第一三共株式会社HP『フルミスト®点鼻液 一般使用成績調査 最終集計結果(2026年8月)』

麻しん風しん(MR)ワクチン不足に伴い、Ⅰ期・Ⅱ期・風しん第5期定期接種で迎えたはずの令和7年3月末までの期限は2年延長可能

四種混合ワクチンは製造中止です。代わりに三種混合+ヒブワクチンか、五種混合ワクチンを接種かです。詳しくは2025年8月号(No. 103)をご覧ください。

当科の診療時間帯

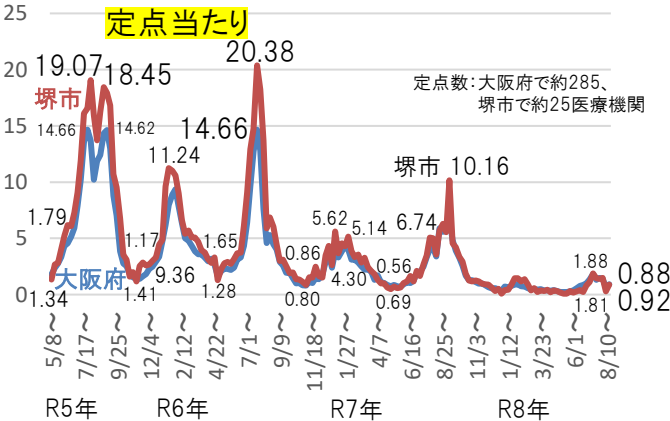
2026年9月の 診療時間帯 (予告なく変更する 場合があります)	9:00～ 9:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)	※予約された方は無 断キャンセルしないで ください。 他の方の受診機会 を奪っています。
	9:30～ 12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)	
	17:00～ 17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)	
	17:30～ 18:45	何らかの症状のある方(事前予約必要)	

想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など
感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

当院におけるかかりつけ医機能についての掲示内容

- かかりつけ医機能に関する研修の修了者および総合診療専門医について
研修の修了者の有無：有、1.0名、総合診療専門医の有無：無
- 一次診療の対応について
(1) 一次診療の対応ができる領域：○小児領域
(2) 一次診療を行うことができる発生頻度が高い疾患：
○中耳炎・外耳炎、○かぜ、感冒、○アレルギー性鼻炎、○下痢、胃腸炎、○便秘、○皮膚の疾患
- 医療に関する患者からの相談の対応について：可

新型コロナウイルス感染症は減少傾向？



新型コロナウイルス感染症の定点報告数(最近約6か月間)

	大阪府	堺市		大阪府	堺市		大阪府	堺市		大阪府	堺市
R8.3/2～	136	9	4/20～	112	9	6/1～	108	4	7/13～	516	47
3/9～	144	14	4/27～	93	8	6/8～	163	7	7/20～	373	36
3/16～	121	6	5/4～	68	4	6/15～	220	10	7/27～	423	35
3/23～	142	9	5/11～	67	2	6/22～	242	6	8/3～	402	37
3/30～	108	8	5/18～	70	2	6/29～	285	20	8/10～	182	7
4/6～	105	11	5/25～	82	8	7/6～	384	28	8/17～	263	22
4/13～	100	5									

新型コロナウイルスの定点報告は7月13日からの週の大阪府1.81、堺市1.88が最近の小さいピークでした。8月17日からの週に大阪府は0.92、堺市は0.88でした。

出典：大阪府感染症情報センターHP『新型コロナウイルス感染症発生状況2023年 第19週～2026年 第34週』

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性者数・陽性率(約6か月間)

	検査数	陽性者数	陽性率		検査数	陽性者数	陽性率		検査数	陽性者数	陽性率		検査数	陽性者数	陽性率
R8.3/2～	2	0	0%	4/20～	4	0	0%	6/8～	1	0	0%	7/20～	4	0	0%
3/9～	3	0	0%	4/27～	5	0	0%	6/15～	3	0	0%	7/27～	0	0	0%
3/16～	4	0	0%	5/4～	1	0	0%	6/22～	2	0	0%	8/3～	1	0	0%
3/23～	10	0	0%	5/11～	1	0	0%	6/29～	2	0	0%	8/10～	1	0	0%
3/30～	2	0	0%	5/18～	4	0	0%	7/6～	3	0	0%	8/17～	1	0	0%
4/6～	3	0	0%	5/25～	2	0	0%	7/13～	5	1	20%	8/24～	1	0	0%
4/13～	4	0	0%	6/1～	0	0	0%								

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、みなし陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)÷(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。8月は29日までに陽性の方はおられませんでした。

9月の変更・休診等

- 5日(土) 片桐→赤澤
12日(土) 片桐→赤澤
かつ公務のため、10時45分で終了とさせていただきます。
19日(土) 片桐→赤澤
26日(土) 公務のため、休診とさせていただきます。

10月以降の時短や休診のお知らせ

11月21日(土) 公務のため、休診とさせていただきます。